

公民館だより なかがわ

第483号

令和5年2月1日
発行 中川地区公民館
TEL.Fax : 679-2501

中川地区新年祝賀会、開催！

1月6日（金）、今年もコロナ感染防止のため式典のみとなりましたが、令和5年中川地区新年祝賀会が、多くの来賓の方々をお迎えして開催されました。

初めに、鈴木高野地区会長による市民憲章唱和（コロナ感染対策のため唱和はせず）、齋藤 長昭会長会副会長より主催者挨拶が行われ、中川地区表彰では、中川地区民生児童委員としてご尽力いただきました、小倉地区の岡崎 とし子様（3期9年）、蔵王地区の石黒 清様（3期9年）、薄沢地区の齋藤 敏之様（2期6年）、高野地区の今野 昇様（2期6年）の4名の方々に表彰状が授与されました。誠にありがとうございます。続いて、横戸市長、遠藤県議会議員、長澤市議会議長より来賓を代表してご挨拶を頂戴致しました。その後、高野地区の山口 博之さんにお謡を、薄沢地区の齋藤 陸州さん（齋藤 秀雄さん）に祝吟を披露していただき、新春にふさわしく、厳かな雰囲気となりました。最後に、中川地区のますますの発展を祈念し、山田館長の音頭により万歳三唱（コロナ感染対策のため三唱はせず）にてお開きとなりました。これからも中川地区がますます活性化していけるよう知恵を絞って、今年もできることを精一杯やっと思っています。



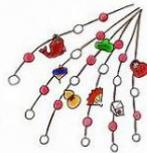
わんぱく広場「そば打ち体験教室」

12月27日(火) 6家族 15名の参加とそば会員 11名 計 26名の参加で「そば打ち体験教室」を開催しました。材料の計量からいざスタートへ!! 会員さんが先生となって、混ぜるこねる伸ばすと工程を進んでいき、時より『冷たいけど、気持ちいい〜』『難しいけど、これでいいの?』と、熱心に取り組んでいました。いよいよ最後の切り方へ。見たことのない包丁を見て『大きいー!!』とびっくりしていましたが、ゆっくりと時間をかけて丁寧に切っていく麺が完成しました。『わぁ〜出来た♪楽しかったあ〜♪またやりたい〜♪』の声をたくさん頂き、開催出来て良かったです。お忙しい中、同伴して下さった保護者の皆さん、並びにそば会員の皆さん、最後までお手伝い頂きありがとうございました。



粹いき倶楽部「だんご木飾り作り交流会」

1月11日(水)、中川小学校1年生・山形盲学校2年生と中川粹いき倶楽部会員による「だんご木飾り作り交流会」が中川小学校の家庭科室にて開催されました。「だんご木飾り」は、小正月(1月15日)に秋の豊作などを願って行われる伝統行事です。だんごの粉に水を入れて混ぜ合わせ、食紅で色をつけてこねていきます。こねながら「冷たくて気持ちいい〜」「きれいな色〜」と楽しそうな子供たちの声が聞こえてきました。丸めただんごを茹でて冷ました後、ふれあいホールに移動して、地区の方からいただいた立派なミズキ(水木)に、だんご、麩菓子、鯛飾りや繭玉、子供たちが作った折り紙を飾っていき、見事なだんご木が完成しました!! がんばって作ってくれた児童の皆さん、参加していただいた粹いき倶楽部の皆さん、本当にありがとうございました。



単発講座「初心者パッチワーク体験教室」

12月23日(金) 単発講座「初心者パッチワーク体験教室」の2回目が開催され、作成していたコースターが完成しました。講師の板垣まさ子さんより、難しい縁の始末の仕方など教えてもらいながら、きれいにキルティングしていくのが大変でしたが、皆さん和気あいあいと作業して、楽しい時間となりました。



1月13日(金) 単発講座「初心者パッチワーク体験教室」の3回目が開催されました。今回は各自作りたいのを決めて、型紙から作成していきます。時間のかかる作業になるとは思いますが、出来上がりが楽しみです♪



女性学級きらい

1月17日(火)第10回女性学級きらいは、Kaco's tearoomの紅茶コーディネーター新関 和子さんにお越し頂き、「紅茶教室」を開催しました。紅茶についてのお話を聞いた後、3種類の紅茶を試飲して、さらに自分でおいしい入れ方を実践し、お菓子とともに紅茶を堪能して幸せな時間を過ごしました!!



出前スポーツ教室「シャフルボード」

1月24日(火)出前スポーツ教室の1回目「シャフルボード」が開催されました。キュー(棒)を使い、ディスク(円盤)を押して、スコアボードの点数を狙う競技。初めて体験する方もいましたが、すぐに慣れて皆さん楽しんでいました。2回目「ストレッチヨガ」、3回目「足腰元気体操」ともに定員に達しました。



会員募集!

令和5年4月からの各種会員を募集します。
詳しくは、地区回覧文書をご覧ください!

★パソコンクラブ (月1回)

WordとExcelを学んでみませんか?
会費 無料

★グラウンドゴルフ愛好会 (毎週月曜日)

みんなでワイワイ仲間作りと健康作り!
(12月~3月は、ピンポンで体力作りができます。)
年会費 1,000円

★詩吟教室 (月3回)

大きな声でストレス発散、腹式呼吸で健康促進!
会費 無料

★ウォーキング教室 (年間7回)

楽しく歩いて心も体もリフレッシュしよう!
会費 無料

★そば打ち教室 (月1回)

自分で美味しいそばを打ってみませんか?
材料代 500g 500円

★スポーツ麻雀愛好会 (月3回)

脳の活性化に! 3無ルールでプレイしよう!
会費 無料

★ラージピンポン愛好会 (毎週木曜日)

ピンポンで楽しく健康作りませんか?
会費 無料

お知らせ

※令和4年度まで会員募集していましたが「女性学級きらい」ですが、令和5年4月より一般講座に変わり、どなたでも参加可能になります。募集方法は、館報にて都度募集いたします。講座により募集期間・定員・参加料金が異なりますので、ご確認の上、公民館へ来館か電話での申し込みになります。

2/10(金)「救命救急講座」(19時~20時半)が、まだ定員に達しておりません。興味のある方は、公民館へお電話下さい!!



行事予定

2/1(水)	市報・館報
2/3(金)	予算審議会・三者会 中川地区会長会・公民館運営協議会
2/4(土)	笑い与健康のつどい
2/7(火)	第11回女性学級きらい(職員不在時間帯あり)
2/10(金)	出前スポーツ教室「ストレッチヨガ」 単発講座「救命救急講座」
2/14(火)	第11回そば打ち教室
2/17(金)	第11回パソコンクラブ 子ども会育成会反省会
2/24(金)	第9回粋いき俱樂部閉講式(職員不在時間帯あり)
2/28(火)	出前スポーツ教室「足腰元気体操」
詩吟教室(火曜日)	2/7、14、21
ラージピンポン愛好会(木曜日)	2/2、9、16
スポーツ麻雀愛好会	2/11、25(土曜日) 2/16(木曜日)



行事予定

3/1(水)	市報・館報
3/3(金)	第2回福祉村だより 施設訪問 中川地区会長会 公民館運営協議会
3/7(火)	第12回そば打ち教室
3/10(金)	第12回パソコンクラブ
3/14(火)	第12回女性学級きらい
3/20(月)	中川地区監査
3/24(金)	中川地区会長会 公民館運営協議会
3/27(月)	令和5年度新会長顔合会
3/31(金)	市報・館報
詩吟教室(火曜日)	3/7、14、28
ラージピンポン愛好会(木曜日)	3/2、9、16、23、30
スポーツ麻雀愛好会	3/4、18(土曜日) 3/23(木曜日)



「昭和考、問わず語り（その24）」

昭和二年三月「金融恐慌」の処理に失敗し退陣した若槻内閣の後継として、元老・西園寺公望任、野党立憲政友会総裁・田中義一（元陸軍大臣、写真①）を後任首相として天皇に推薦、田中内閣（写真②）が成立した。

〈田中内閣の迷走〉

田中内閣は、昭和二年四月の内閣成立直後、緊急勅令でいわゆる支払猶予令を出すことも、五月初めに開いた臨時議会でこの緊急勅令の事後承認と、台湾銀行救済のための法案を可決させ、「金融パニック」の鎮静化に成功した。

しかし、過半数を得ていないままでは政権の安定はおぼつかないと考え、解散総選挙を有利にするため、選挙取締りに当たる各道府県の知事や警察幹部の中で、憲政党内閣時代に抜擢された人々を休職とし、代わりに別の内務官僚を抜擢する人事異動を行ったうえで、昭和三年一月衆議院を解散し一月に総選挙に踏み切った。初の男子普通選挙（納税要件を撤廃した二十五歳以上の男子による選挙）であった。

選挙では、政友会が第一党となったが過半数には届かず、野党議員を買収して政友会に移らせ、更に民政党内の旧政友立憲系を脱党させ、新党倶楽部を結成させ与党とし、単独過半数を確保した。

〈「3・15事件」による大量検挙〉

総選挙後の三月十五日、警察は共産党関係者の大量検挙を行った（「3・15事件」、写真③）。約千六百人が検挙され、四百八十八人は治安維持法違反で起訴された。翌四年六月には、緊急勅令の形で治安維持法を改正、取締りの範囲を団体変革を目的とした結社の加入者に加え、行為に参加した者にも拡大し、また最高刑を死刑に強化した。この改正後、治安維持法違反容疑による検挙者は急増し、昭和六年から八年にかけて年間一万人を超えた。

〈張作霖爆殺事件の発生〉

政友会のなりふり構わない政権維持の方法、治安維持法改正の強行に対し、世論の批判が高まりつつあった。昭和四年に入ると、二月二十一日に貴族院で田中首相不信任決議が可決され議会議事は大混乱となり、昭和四年度予算は成立したものの、政府提出法律案は三分の二しか成立しなかった。

こうして田中内閣の運命にとどめを刺したのが、昭和三年六月に起きた「張作霖爆殺事件」だった。

昭和二年五月、蒋介石を中心とする中国の国民革命軍は、中国統一を目指す軍事行動（いわゆる北伐）を開始した。その進軍過程で日本人が多数在留している山東省に近づいた。与党政友会の方針もあり、二年四月に成立した田中内閣は、居留民保護を名目に同年五月陸軍部隊を山東省に派遣した（第一次山東出兵）。日本軍は、一旦撤収したが、翌二年一月にも北伐軍が日本人の多くが居住する山東省の濟南市に近づいたため同年四月陸軍部隊を派遣し（第二次山東出兵）、今度は三年五月日中両軍が交戦して死傷者を出した（濟南事件）。この事件により中国国内の対日感情が悪化した。

その後北伐軍は、北京（当時は北平と呼ばれていた）に迫った。北京には、日本の支援を得つつ満州地域を統治していた張作霖政権が勢力拡大を目指して進出していた。北伐が満州の日本権益回収にまで及びことを恐れた日本は、張作霖（写真④）に華北（北京を中心とする地域）の放棄を迫った。張作霖は本意ながら同意し、列車で奉天に戻ることにした。

しかし、張作霖が今後も日本のいうことを聞くかどうか不安に思った関東軍参謀・河本大作（写真⑤）は、テロに見せかけて張を殺害し、その混乱の中で満州地域を日本領化する謀略を計画、昭和三年六月四日、奉天郊外の線路上で張の乗った列車を爆破、張は死亡した。これが「張作霖事件」である。（写真⑥は、爆破直後。）

この事件は中国共産党の謀略とする説や河本の個人的犯行という説もあるが、多数の陸軍軍人が関与しており、事件の組織性を否定することはできない。この事件が関東軍の謀略だったことは現地ですぐ

甲石地区 高橋 正之

にわかってしまったが、日本政府は、事件の報道を差し止めて対策を検討した。
（本文は「昭和史」古川隆久著ちくま新書より。写真は、いずれも「昭和2万日の全記録」講談社刊より。次回は、田中内閣の総辞職、金融恐慌、冷害について記述する予定です。）

〈当時の上山の出来事（山市史年表より）〉

- ・大正十二年（西郷村ほか四ヶ村に電灯が点灯する。
- ・大正十五年（高皇町の長谷川合資会社が矢来に分工場として長谷川製糸工場を建設する。
- ・昭和二年（中川村や宮生村にメリノ一種などの綿羊が導入される。
- ・昭和三年二月（普通選挙法による初の総選挙が行われ、高橋熊次郎が当選する。
- ・昭和四年（旧山形県庁前から堀田村を経て上山町に至る産業道路が十カ年計画で着工される。



（写真⑤）



（写真④）



（写真①）



（写真②）



（写真③）



（写真⑥）